

2025年(令和7年)
第876号

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部

杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp

定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ


あけまして
おめでとうございます

新年の業務開始と休館

1月6日(月)の業務受付は12時まで(午後は書記局四役合同会議のため閉館)、7日(火)より通常業務となります。

1月31日(金)は書記局会議のため終日閉館となります。

※土・日・祝日も閉館



職業能力開発短期大学校
東京建築カレッジ

現役カレッジ生
インタビュー

親子四代大工の道 お客さんの笑顔のため

自分が必要とされる仕事めざしたい

卒業制作3分の1模型「手水舎」



佐藤 蓮之介 さん
平成12年2月8日生まれ(24才)
大学卒業後、東京建築カレッジ入学。現在は(株)佐藤工務店で働きながら、東京建築カレッジで建築の全般を学んでいる。



「化粧棒隅木」と佐藤さん

東京建築カレッジの技能照査試験の課題。原寸図、墨付け、加工、組み立ての各段階の正確さが問われる(池袋校舎地下実習場、12月7日撮影)。

東京建築カレッジで学んでいること

蓮之介さん(以下蓮)...
小さい頃から木材は身近にありました。親から大工を勧められるというよりは、自然に大工を志した感じです。子どもの頃、学校から

蓮...カレッジは金曜日には、土曜日に実技で建築の全般を学びます。1年生の時は、江東実

習棟で建物が出来上がるまでの各職工(水道・タイル・配筋など)の特別授業もあります。その特別授業の先生は、各支部に所属する組合員の方で、杉並支部所属の先生もいます。

雄一郎さん(以下雄)...
やる気がないと(カレッジ生を続けるのは)難しいと思います。学校に行かせながら給料も出しているのだから会社も体力がないと続きません。

やる気はあるけど金銭面で厳しい、そのような若者をサポートするため町場の工務店が集まり、大工をめざす若者を育てていく大工育成プログラム「東京大工塾」があり、理事を務めさせていただいています。

大工になりたいけども金銭面で厳しい人を応援するため、これから

も会員を増やしていきたいと思っています。

やる気がないと置いていかれる

蓮...カレッジ生の中でも自分と同じような環境で、大工を志す仲間はいません。実際の現場では同年代は少ないので、同世代がいるカレッジはヨコつながりを作る場でもあると思っています。


また、年に数回、OJT報告会というのがありまして、自分がどんな仕事をしているか報告したり、抱えている悩みを共有したりします。

今は仕事とカレッジの両方で忙しいけど自分自身、成長スピードはスゴいと感じています。やる気がある人はついていけるけど、なると置いていかれます

株式会社 **佐藤工務店**
一級建築士事務所

71 東京都杉並区高井戸西2-12-23
03-3334-0082 FAX:03-3334-0034

営業項目
・店舗、設計・施工
・建築工法
・住宅(新築・リフォーム)
・住宅(高層・高層・高層)
・住宅(高層・高層)
・住宅(高層・高層)



佐藤蓮之介さん(左)と社長の佐藤雄一郎さん

雄...現場では最初雑用ですが、基礎ができてなるといきなり機械を持つ時間もかかってしまいます。カレッジで学んだ木組みを理解決した上で現場で応用する。カレッジは自分にとって、とても意義があります。

お客さんの笑顔のため

蓮...現場では最初雑用ですが、基礎ができてなるといきなり機械を持つ時間もかかってしまいます。カレッジで学んだ木組みを理解決した上で現場で応用する。カレッジは自分にとって、とても意義があります。

雄...現場は、インパクトドライバーと丸ノコがあれば仕事ができる世界になっています。手刻みはほぼ無くなっていますね。カンナの研ぎ方はどこで習うのかと思います。

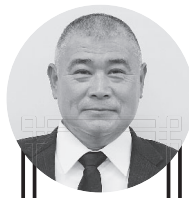
支部のホームページはこちら

<https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html>

東京土建杉並支部 検索

※① 東京建築カレッジ
東京土建がつくった職業能力開発短期大学校。入学生はすべて建築従事者で「働きながら学ぶ」が特徴。木造建築の基礎的な知識と教養、技術を身につけることができる。技能検定合格で2級技能士取得。建築士指定科目全て履修して卒業すると、二級・一級建築士の受験資格が得られる。

※② 木拾い
工事費を算出するための手段のひとつで木見積りとも呼ばれる。木造構造の知識がないとできない。



鎗田登美雄 執行委員長
新年挨拶

一人ではできないことも みんなで要求・運動すれば実現に近づく

新年明けましておめでとうございます。日頃より、組合活動へのご理解ご協力は、改めて感謝申し上げます。

昨年、能登半島地震や気候変動と思われる集中豪雨など、自然災害が多く発生しました。中でも能登半島地震に対しては杉並支部の仲間が4度にわたり復興支援活動をおこないました。

杉並支部は災害対策分野での活動を強化しており、「まちの救助隊ビーバース」は、普通救命講習会の開催、震災救援所訓練では掛け矢やバールの取り扱い指導をおこなってきました。新規隊員の募集も随時おこなっており、ぜひ多くの仲間のみなさんの加入を望みます。

物価や資材の高騰は止まらず、建設業界も大きな打撃を受ける中、私たちが昨年の4月まで取り組んだ「持続可能な建設業実現にむけた100万人国会請願署名」の請願採択により、担い手3法が改正されました。これから重要になることは請求・要求の声を上げることです。技術集団である私たちは、技術の安売りはしないで、まっとうな賃金・単価を受け取れるよう、声を上げていきましょう。

税金の分野では、103万円の壁撤廃が叫ばれる中、一昨年10月にはインボイス制度がスタート。値上がりする社会保険料や消費税の支払いで、私たちの負担は増

えています。仲間や国民の暮らしが苦しい今こそ、消費税の減税とインボイス制度の廃止が必要です。建設国保は、病気やケガで働けない時、安心して医療にかかれるように私たちの先輩が作った優れた制度です。社会保障の連続改悪に伴い、建設国保の補助金削減もその対象となっていることから、みんなができるハガキ要請の取り組み強化ほか、特定健診・特定保健受診の方は、年度内の受診をお願いします。

核兵器の非人道性を語り継ぎ、核兵器廃絶を訴えてきた日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に昨年12月10日、ノーベル平和賞が授与されました。今なお世界では争いが絶えません。有事有事と言わず友好を望み、平和であつてこそ平穏な暮らしを願います。「原水爆禁止署名運動発祥の地」杉並からも平和運動を強化していきましょう。

ものづくり集団である私たちが集まり、一人ではできないことも多くの人が結集し要求・運動すれば実現に近づきます。ぜひ組合活動に参加いただき、ともに前進していきましょう。組合未結集の仲間にもお声かけいただければと思います。

最後にみなさまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

杉並支部2024年を振り返る

仲間の結びつき強化をめざす

1月 新春旗ひらき 税金講習会

昨年1月、杉並支部は3,086人の組織人員でスタート。18日に「支部新春旗ひらき」を杉並支部会館にて開催(150人)。

合計5回おこなわれた税金講習会には、172人が参加、税金に対する知識を深める。

2月 後継者スキー 100万人署名行動

17日から18日にかけて、後継者対策部が長野県北志賀竜王スキー場にてスキー・スノボツアーを開催(23人)。

29日には「持続可能な建設業実現100万人署名」の紹介議員要請行動として、ユニオン・杉並建設と共同で杉並選出の吉田はるみ

衆議院議員を訪問。100万人署名の請願項目に快く賛同いただく。

3月 重税反対行動 杉並区長懇談

3・13重税反対杉並統一行動を4年ぶりに開催、蚕糸の森公園で集会後、杉並税務署までデモ行進、集団申告をおこなう(全体135人・杉並94人)。

24日には全8分会が分会総会を開催(381人)、今年度の方針・予算・役員選出を確認。

27日には杉並建築協会で岸本区長と懇談。岸本区長「CCUSの登録拡大には建設業の未来がある」と回答。

29日には「持続可能な建設業実現100万人署名」の紹介議員要請行動として、ユニオン・杉並建設と共同で杉並選出の吉田はるみ

4月 14年ぶり1泊大会 山本太郎議員懇談

7日〜8日にかけて、第75回支部定期大会を石和温泉・慶山にて14年ぶりに1泊大会を開催(105人)。

18日には山本太郎参議院議員と初めて懇談が実現。物価が上がる一方、インボイスの実施など政府がおこなう政策は間違っていることを指摘。100万人署名への賛同と署名提出を承諾。



山本議員と初めて懇談

6月 第47回住宅デー 新年度役員学習会

3日に拡大打ち上げ式を開催(80人)。春の拡大月間は147人・4・76%で全分会・目標超過達成。

9日に4分会(井萩・富士見・中央・高和)、16日に西萩、30日に浜福分会がそれぞれ住宅デーを開催(阿佐谷・泉南は7月に開催)。

各会場とも工作教室・住宅相談をおこない、東京土建をアピール。24日には新年度役員学習会を開催。各分会センターをWEBでつなぎ、役員講師による「分会・群役員の任務」「組合のメリット」を学習(93人)。

7月 新加入者歓迎会 平和行進とごい

1日に全体41人(新加入者5分会12人・事業所から3社参加)の参加で上半期新加入者歓迎会を開催。組合制度説明のあと分会組織介で交流を深める。

20日から21日にかけて山梨県甲武キャンプ村にて大キャンプ交流会を開催(56人)。川遊び・火起こし体験・BBQ・キャンプファイヤーなどで若手組合員が家族ぐるみで交流。26日の国民平和大行進には、全体40人(杉

8月 普通救命講習 政策懇談会

4日に支部会館を会場に普通救命講習を開催(36人・うち認定証の有効期限は3年のため再講習10人)。「心肺蘇生」とAEDを学習。

20日と27日の区議会政策懇談会では、建設業を地域振興策に位置づけること・現行保険証の存続・石綿除去費用の拡充などを要望。

2日には防災学習会を開催。早坂都議より「能登半島地震と東京の防災」と題した講演。ビーバースの活動報告もおこなう(67人)。

9月 防災学習会 能登復興支援

20日の夜から22日にかけては能登半島復興支援活動。珠洲市ボランティアセンター到着も大雨特別警報発令で作業中止、全面通行止めが立往生の中、地元建設業者の素早い復旧作業で無事に金沢市に帰還。

20日の支部安全衛生大会では、上井草診療所の理学療法士より「ケガしづらい体の動かし方を学習(15人)。

11月 第22回東平土建まつり 南相馬支援活動

3日に第22回東京土建まつりを開催。前日の雨天から晴天になり来場者1万人。各分会では「丸太切り」「タイル工作」など建設業に特化した出店多数。

23日から24日にかけて福島県南相馬市で復興支援活動を開催(全体24人・杉並18人)。民家の草刈りを全員でおこない、改めて仲間の力を実感。

健康保険証廃止が強化された2日に全体36人(新加入者5分会10人参加)で下半期新加入者歓迎会を開催。

12月 労働安全大会 新加入者歓迎会

20日の支部安全衛生大会では、上井草診療所の理学療法士より「ケガしづらい体の動かし方を学習(15人)。

2024年の大きな出来事

- 1月 石川県能登で震度7、津波被害
羽田空港で旅客機と航空機が衝突炎上
- 2月 H3ロケット打ち上げ成功
- 3月 日銀「マイナス金利政策」を解除
- 4月 自民、派閥の政治資金問題で39人処分
円安、34年ぶり1ドル160円台
- 5月 改正民法成立、「共同親権」導入へ
- 6月 入管法改正・難民申請厳格化
- 7月 日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行
パリ五輪、日本は海外最多メダル45個
- 8月 「南海トラフ地震臨時情報」初発表
岸田首相が退陣表明
- 9月 石破新内閣が発足
袴田さんに再審無罪判決
大谷翔平、米大リーグ初「50-50」
- 10月 ノーベル平和賞に被団協
- 11月 DeNA26年ぶり日本一
内部告発問題失職の兵庫県知事再選
- 12月 シリア・アサド政権崩壊
「健康保険証廃止」強行

1日の第95回メーデーは、代々木公園を会場に雨天の中開催(全体12,000人・杉並48人)。青年部製作デコレーション「所得ピラミッド」は、残念ながら入賞ならず。24日に杉並区環境課と「エコ住宅促進助成制度」「アスベスト分析費用助成」について学習会を開催(34人)。アスベスト分析費用助成額の引き上げを要請。

9月と10月にコーナン八幡山宣伝支部屋上BBQ

コーナンPRO

労働安全大会



募集

■ **ハウスクリーニング** ■
おそうじ本舗 杉並阿佐谷南店
代表 藤原 要
中野区新井5-10-4
Tel.070-3121-9394

■ **現場管理** ■
(株)弥彦工務店
代表 児玉 達朗
杉並区和田3-50-3
パークサイドテラスコヤマ
Tel.090-2658-4844

■ **外構造園作業スタッフ** ■
グリーンスペース計画(株)
代表 益田 陽介
杉並区下井草3-20-11-105
メゾンヴェルトIII
Tel.080-1074-4655

■ **電気工事士** ■
【社員】

(有)リケンエナジー
代表 縫村 信秋
杉並区浜田山1-23-7
Tel.03-3290-0122

■ **配管工** ■
【社員】

高喜工業(株)
代表 齋藤 隆男
杉並区大宮1-2-2-201
Tel.03-3328-9638

■ **防水** ■
【社員】

(株)奄防
代表 南 忠文
西東京市東町5-7-20
Tel.090-8030-8822

■ **造園工** ■
【社員】

(株)ネクストグリーン
代表 堀内 幸雄
杉並区堀ノ内2-7-101
Tel.03-6677-7168

■ **測量士・測量士補** ■
【社員・アルバイト】

リーベン開発設計(株)
代表 古地 孝博
杉並区阿佐谷南3-31-14
Tel.03-3392-4735

■ **塗装・防水・電気・営業** ■
【社員】

(株)しんせん
代表 小笠原 健悦
杉並区堀ノ内3-49-7横尾ビル1F
Tel.03-3311-2196

■ **塩ビシート専門** ■
【社員】

(株)UPstart
代表 相澤 秀明
杉並区永福1-39-9-106
Tel.03-6677-3747

掲載は無料です
どうぞご利用
ください



昨年も支部会館で開催

2025年杉並支部

新春旗びらき

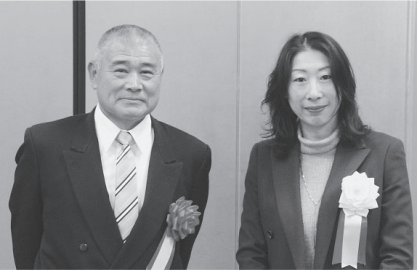


杉並支部会館で平日夜間に開催します。組合員本人だけでなくご家族にも参加いただき、多くの仲間の参加で新年の飛躍を誓い合ひましょう。

- 日時 1月24日(金) 19時
- 場所 杉並支部会館3階
- 会費 1,000円

※新永年組合員・今年度新加入者は無料(個別でご案内いたします)
※参加希望者は分会役員が支部までご連絡をお願いします

今回出席したみなさん



岸本区長と鎗田委員長

鎗田委員長が受賞

昨年12月10日に杉並区役所において、杉並区技能功労者の表彰式がおこなわれ、支部執行委員長でもある鎗田 登美雄さん(泉南・瓦)が表彰されました。この賞は、杉並区において長年同一の職業に従事し、技能の練磨および後進の指導育成に務めた方々を表彰するものです。昭和52年に始まって以来48年目、1,326人が表彰されました。昨年は14団体からの推薦があり、審査会による厳正な審査の結果、18人の受賞者が決定しました(当日は12人が出席)。

令和6年度杉並区技能功労者表彰式

昨年12月10日に杉並区

インボイス制度の経過措置

経営圧迫のインボイスは廃止を

インボイスとは
インボイスの仕組み

2023年(令和5年)10月1日からインボイス制度が開始されました。インボイスとは、税務署に資格請求書発行事業者の登録申請をおこない、交付された登録番号が記載されている請求書や領収書などのことをいいます。

このインボイスの発行事業者の登録は、消費税の課税事業者でなければおこなうことはできません。登録番号の記載のない請求書等はインボイスと認められず、仕入税額控除ができなくなり、結果、課税事業者は消費税の納付額が増えることとなります。

課税仕入に係る経過措置

ただし、制度開始後6年間(うち8割控除は令和8年9月30日まで)は、免税事業者からの課税仕入の一定割合を「仕入税額」として控除できる経過措置が設けられています。

免税事業者からの課税仕入に係る経過措置(8割・5割控除)

令和5年10月1日	令和8年10月1日	令和11年10月1日
3年	3年	
免税事業者の課税仕入れを80%控除可能	免税事業者の課税仕入れを50%控除可能	控除不可

2割特例の適用
また、インボイス制度を機に免税事業者から課税事業者となった

この特例を適用した場合、売上税額の2割が消費税納付税額となります。2割特例は届出の必要がなく、消費税申告書にチェックを入れるだけで適用されます。経営を圧迫するインボイスは廃止しかありません。廃止の運動も強めていきます。

2割特例の適用が可能な期間

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
免税事業者	インボイス発行事業者	インボイス発行事業者	インボイス発行事業者	インボイス発行事業者	インボイス発行事業者

※2割特例は基準期間が1,000万円を超える場合適用できません

当日は19人が参加



11.29 浜福分会 若手交流会

若い力が育ち横のつながりできる



初参加のフィリップさん(内装)と大淵分会長(左)

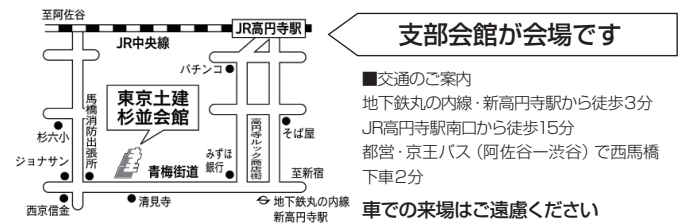
【浜福分会・発】浜福分会は11月29日に高円寺「ホルモン焼肉 天竜」にて若手交流会を開催。

樋口組織部長を中心に参加呼びかけが成功し、当日は20代・30代・40代・役員・家族連れを含めて19人が集まりました。秋の拡大月間で組合に加入した新加入者も参加、若い力が育ちつつあり、横のつながりもできています。

税金講習会の日程

- 初めて申告の方 ● 1月23日(木)13時30分～
- 給与所得者 ● 1月27日(月)19時～
- 一人親方・事業主 ● 1月28日(火)19時～
- 1月30日(木)19時～
- 1月31日(金)19時～

※対象の日に都合がつかない方もいずれか1日にご参加ください



記帳相談会の日程

税金講習会を受講した方が対象です。今回も対面式による相談会はおこなわず、下記の期間中に「確定申告関係書類」を支部事務所まで提出をお願いします(郵送可)。書類の点検が終わりましたら、税金講習会で記入いただいた電話番号にご連絡いたします。

書類提出期間 2月14日(金)～2月25日(火)

まちの救助隊ビーバースの活動

阪神淡路大震災や東日本大震災、能登半島地震では、倒壊した家屋からの救出作業には多くの地元の建設従事者が協力しました。そして、その後のインフラの復旧復興や住宅再建に至るまで、中心的な役割を果たしてきました。

今後、首都直下型地震や巨大台風・竜巻・火山噴火など、自然災害による甚大な被害が予想される中、東京土建杉並支部は地域の住民や町会・学校・消防署、そして杉並区と協力してともに「安心・安全なまちづくり」をすすめています。

まちの救助隊ビーバースは、東京土建杉並支部の災害対策活動を担う中心組織です。年間を通じて隊員の技術と意識の向上を目的に活動してきました。今年度の主な活動を報告します。



神田川調節池見学会

11月26日に環状七号線地下にある神田川調節池を見学しました(詳しくは機関紙すぎなみ12月号参照)。河川の氾濫に対しては拡幅(横)と掘削(縦)をおこない、流量を増やすのが有効です。河川の拡幅は下流の水量が増え、最下流からの工事では何年かかかってしまいます。そこで「地下調節池」を作り流水を受け止め、下流の水量を減らすことで上流部の河川改修が可能になります。環七地下には内径12.5M、貯留量54万m³の貯水トンネルがあり、下流域の水害軽減に大きな効果を発揮しています。



神田川調節池
平成19年3月完成

動と連携し、わが町を守る

杉並区との連携

家具転倒防止器具取付 感震ブレーカー設置

杉並支部は杉並区と家具転倒防止器具取付・感震ブレーカー設置業務委託を結んでいます。

※感震ブレーカーとは、震度5強以上の揺れを検知すると、自動的にブレーカーを落として通電火災を予防するものです。

帰宅困難者一時滞在施設

2016年12月14日に杉並区と「帰宅困難者一時滞在施設の提供に関する協定」を締結(現在11民間施設と締結)。杉並支部会館3階は約100人の受け入れが可能で、3日分の水と食料、毛布を備蓄しています。



2016年12月14日一時滞在施設締結式

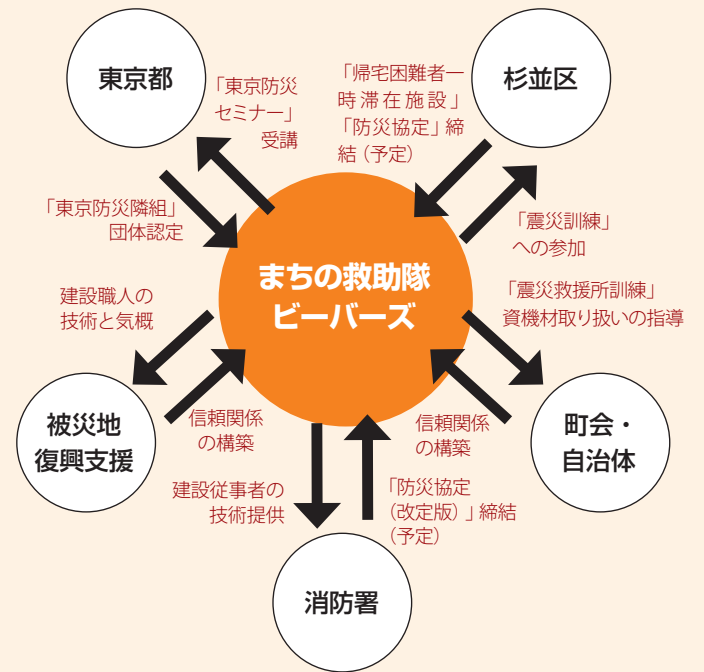
まちの救助隊ビーバースとは?



ビーバース吉田隊長

2016年12月15日に「まちの救助隊ビーバース」は結成されました。組織内では新たな仲間づくりの接点として、地域では住宅デーに加えて「減災防災の観点」から地域住民と新たな信頼関係を作る受け皿を展望します。

ビーバースを中心とした関係図



ビーバース隊員随時募集中 ~技術技能をもつ私たちの出番~



私たちは地域に住み、まちの復興復旧に必要な道具や技術をもつ建設従事者です。まちの救助隊「ビーバース」に登録して、わがまちを守りませんか? 登録はQRコードの読み込みをお願いします。

署との連携

家屋 人命救助訓練への協力

消防士有志による災害ボランティアコイ(DGR.119)より、東京土建本部に人命救助で使用される木造解体家屋を提供してもか、と依頼があり杉並支部が対応。DG、プロジェクターで事前確認をおこない、ソーで屋根を開く訓練などをおこな。今後は、つながりを大事にビーバースの活動にかかしていきます。



人命救助用開口部の場所の説明

地震に備えよう

大規模地震に備えて身の安全を守り、生存率を上げるための事前準備が重要です。日頃から防災への意識をもってしっかりと地震対策をおこないましょう。



家具や家電の置き場所・固定方法の見直し



非常用バッグの準備



食料や飲料水などの備蓄



家族との連絡手段・安全確認の方法



避難場所・避難ルートの確認

2024年被災地復興支援活動

能登半島地震

2月 応急仮設住宅建設

2月に全木協(全国木造建設事業協会)より東京土建に木造仮設住宅建設の大工募集があり、杉並支部からは小野俊英さん(富士見)と三輪邦雄さん(浜福)が参加しました。宿泊先の石川県七尾市から輪島市までは車で1時間30分の道のり。現場ではボード張りが遅れており、壁ボード張りの作業をおこないました。全国から約100人の職人が集まり作業中、作業の遅れがある人をみんなの手伝うなど、仲間の輪ができました。



現地の応急仮設住宅

7月 ブロック塀の解体

7月26日22時に杉並支部を出発、能登ボランティアセンターには翌朝6時30分に到着。東京土建本部のみなさんと一緒に「民家のブロック塀解体」と「蔵にある大量の木材切断・運び出し」をおこない、一緒に作業をした一般ボランティアの方から「プロのスキルと気概に脱帽した」と驚きの声。



ブロック塀の解体

7月 支援金を石川県連に届ける

輪島市にある航空学校ベースキャンプで宿泊し、金沢にある石川県連に支援金を届けました。「全国のみなさんの温かい支援は本当にありがたい」と嶋田支部長は話されました。



支援金を届ける

9月 集中豪雨でボランティア作業中止

9月20日夜にバスタ新宿を出発、早朝金沢駅に到着し、道具を持参した先発隊3人と合流、一路珠洲市を目指しました。次第に雨が降り出し珠洲市ボランティアセンターに着いた頃には土砂降りに。大雨特別警報が発令されたためボランティア作業は中止、道路はすべて通行止めになりコンビニ駐車場ですばらく待機することになりました。避難所への移動も覚悟した矢先、通行止めが解除になり無事金沢まで戻ることができました。道中の道路には河川の氾濫により流れ着いた倒木が散乱しており、地元建設業者の重機による素早い復旧作業がおこなわれました。



河川氾濫で流れ着いた倒木

福島県南相馬市 施設視察・ボランティア作業 (11月)



駅舎が流出した富岡駅 (2013年)



2024年11月現在の富岡駅

11月23日から24日にかけて福島県南相馬市において、ボランティア作業をおこないました(詳細は機関紙すぎなみ2024年12月号参照)。初日に訪れた富岡駅は、東日本大震災による津波で駅舎が流出、福島第一原発事故による警戒区域となり、立ち入りが規制されました。

2015年になり解体がはじまりましたが、駅舎だけでなく駅前の家も解体したため、町の風景は一変していました。津波だけの被害だったら、ここまで故郷をなくすことはなかったと思わずにいられません。

防災学習会

9月2日におこなった防災学習会には67人が参加しました。早坂都議による講演「能登半島地震と東京の防災」では、土砂崩れにより道路が寸断され、避難や救助の障害になったこと、建物の崩壊は層破壊(パンケーキクラッシュ)が目立ち、耐震化率約50%と遅れていたため被害の拡大につながったとのことでした。建物の耐震補強工事をすすめていくことが最も重要です。



現地の写真に基づく説明(早坂都議)

普通救命講習

8月4日に支部会館3階を会場に普通救命講習を開催。合計36人(新規26人・再講習10人)が受講し、当日は杉並消防署と消防団の協力のもと、「心肺蘇生法」「AED(自動対外除細動器)」について学びました。バイスタンダー(その場に居合わせた人)が救急車到着までの間、心肺蘇生やAEDを使用することで、傷病者の社会復帰率が高まります。

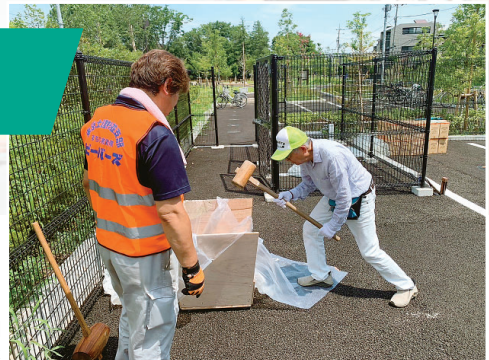


強く・早く・絶え間なく(心肺蘇生法)

杉並支部の災害対策活動 建設職人の技術・地域と

町会自治会との連携

防災倉庫資機材 取り扱い訓練



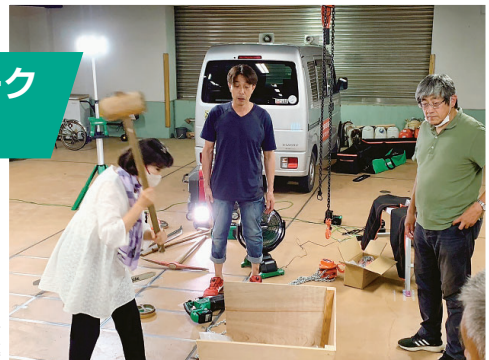
馬橋公園 震災訓練の様相

区内65ヶ所の震災救援所に隣接されている防災倉庫には、災害用資機材(掛け矢・大バール・ツルハシ・とび口など)が常備されています。

しかし、使い方までは周知されておらず、杉並支部に資機材の取り扱いを指導して欲しいか、との依頼があり対応しました。

2024年は「杉十小防災倉庫震災訓練(1月)」「馬橋公園防災倉庫震災訓練(7月)」「杉六小震災訓練(9月)」に参加、指導をおこないました。

福祉防災ネットワーク すぎなみ



支部会館で「掛矢体験」を指導

「防災は災害前も災害後も福祉的視点で対応すること」を目的に杉並区内のさまざまな団体が得意分野のノウハウを持ち寄り、誰ひとり取り残さない震災救援所運営をめざしています。「避難所でのエコノミー症候群予防体操」「ペット同行避難」「障害者避難対策」などの団体の中、杉並支部は防災倉庫に眠る「災害用資機材の取り扱い」について指導。定期的に会議にも参加しています。

消防署と

倒壊家屋

全国の消防コミュニティ(救助訓練で使えないか、R.119は、プロチェーンソーいきました。今活動に生かし

南相馬被災地視察 ヒロシマ・ナガサキ 伝言館 核兵器がなければ原発事故はなかった

11月23日から24日にかけて福島県南相馬市でおこなわれた復興支援活動(詳細は12月号掲載)。双葉郡榎葉町にある宝鏡寺の隣りに設立されていた「ヒロシマ・ナガサキ・ヒビキー・フクシマ伝言館」の管理人である丹治杉江さんが、視察に訪れた我々を出迎え、伝言館設立までの経緯を話してくれました。その内容を紹介します(文責 双木)。

広島・長崎の火

ヒバクシャが苦しんでいます。

1945年8月6日・9日、広島・長崎に人類最初の原子爆弾が米軍によって投下され、一瞬にして10数万人の尊い生命が奪われました。そして今も多くの

23年後の1968年、星野村役場にこの火を提供し、以来「広島火」として今も保存されています。

非核の火点火

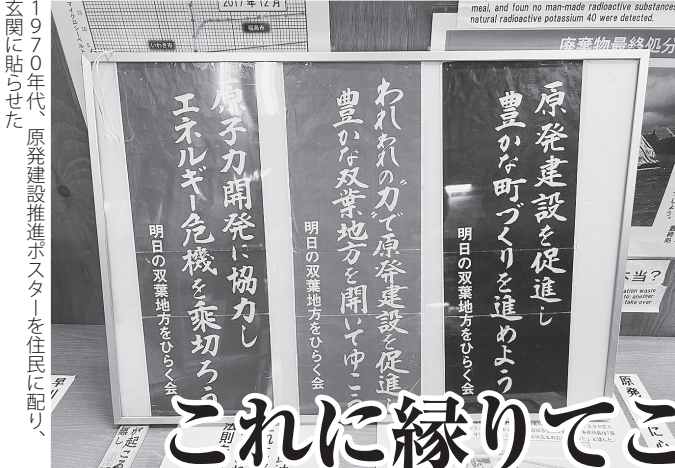
そして、原発事故から10年後の2021年3月11日に「非核の火」として、点火式をおこないました。

して故郷に持ち帰り、はじめは「形見の火・恨みの火」として密かに灯し続けました。しかし、長い年月の中で「復讐や憎しみだけではまだまだ多くの犠牲者を出すだけ」と思うようになり、核兵器をなくし、平和を願う火として灯すようになり、宝鏡寺の初代早川篤雄住職が「絶対に火は消してはならない」と移設受け入れを快諾しました。

これに縁りてこれが起る これ無ければこれ無し



ヒロシマ・ナガサキ・ヒビキー・フクシマ伝言館の設立経緯を説明する丹治杉江さん



1970年代、原発建設推進ポスターを住民に配り、玄関に貼らせた

伝言館の肝

平和ミュージアム(伝言館)の肝は、お釈迦様の言葉です。「こ

な街になるといふ夢物語です。原発の誘致に反対する人はいました。が、原発推進派は、このポスターを住民に配り、玄関に貼っていた。いよいよ、村の発展を疎外する悪い家として村八分に、村中を原発賛成の雰囲気にして建設しました。

住民を分断し 原発建設

館内にはさまざまな資料が展示してあります。その中のひとつに原発建設推進ポスターがあります。これは1970年代、福島第2原発を富岡町、榎葉町に誘致するにあたり、町民の合意形成を得るために配ったポスターです。

断捨離セミナーに39人

12月7日に年末おたのしみ会「断捨離セミナー」を開催しました(39人)。原田千里講師から断捨離は「執着・あとで使うだろう・誰かに譲るために残しておく」という考えが片付けられます。

日本被団協ノーベル平和賞受賞

2024年のノーベル平和賞は、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が受賞しました。その構成団体の一つに「杉並光友会」があります。

ひまわり主催「おたのしみ会」

12月7日に年末おたのしみ会「断捨離セミナー」を開催しました(39人)。原田千里講師から断捨離は「執着・あとで使うだろう・誰かに譲るために残しておく」という考えが片付けられます。

阻止してよかった 珠洲原発

珠洲原発は、関西電力が珠洲市高屋地区、中部電力が珠洲市寺家地区にそれぞれ100万KW級の巨大原発2基を建設する予定で、高屋町は、今回の地震で住宅の大半が壊れ、孤立状態になりました。もし原発があつたら深刻な事態となっていたことでしょう。阻止できて良かったです。



武力で平和はつくれぬ!

12月8日、真珠湾攻撃・日米開戦の日に「武力で平和はつくれぬ!」を主題に杉並の地域団体が集まり、パレードをおこないました(全体50人・杉並15人)。

住まひも整えて心も調(ととの)う・すぐやる断捨離

模擬試験解説 (問題は機関紙すぎなみ12月号に掲載)

問1 「台風」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

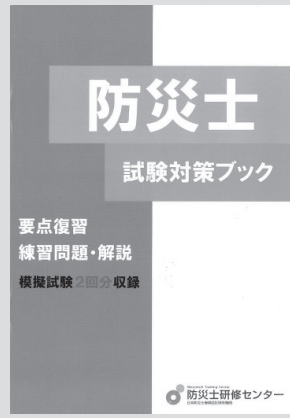
- ① 誤り= 「猛烈な」台風と表現されるのは最大風速が54m/s以上の時である
- ② 誤り= 台風の大きさは、風速15m/s以上の強風域の半径により定義される
- ③ 正解= 台風の中心風速が17.2m/sを超えた時に「熱帯低気圧」から「台風」へと名称が変わる。

問2 「ゲリラ豪雨」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 誤り= 大都市での人間活動による排熱により、周りの地域よりも気温が高くなり、強い上昇気流が発生するため
- ② 正解= 夏場、大都市では周りの地域よりも気温が高くなり、強い上昇気流が生まれ積乱雲を発達させやすくするとされている。「ゲリラ豪雨」とは局地的で突発的な予測の難しい豪雨のことである。
- ③ 誤り= 「ゲリラ豪雨」は正式な気象用語ではなく、その発生メカニズムも謎の部分が多い

問3 「台風情報」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ① 誤り= 暴風警戒域は、風速25m/s以上となる範囲である
- ② 誤り= 台風進路予想図では、台風の現在位置は×印で示され、今後進と思われる範囲を白い実線と点線で囲んで示す
- ③ 正解= 台風目が当該地域を通過すると、一時的に風雨がやんだり青空がのぞいたりする可能性があるが、これをもって台風が去ったと誤った判断をすると思わぬ被害を生じることがある。



今月は、先月掲載した実際の防災士試験で使用されている模擬試験の解説を掲載します (文責・双木)



防災士模範試験で
防災について学ぼう

防災士が語る
災害と防災
青木隆之 防災士

現場の話で盛り上がる



今村PAL会長

【今村PAL会長】師走の忙しい中、天気にも恵まれ、PAL交流会2回目の高尾山になりました。楽しい時間と有意義な会話ももてた日曜日でした。

来年は西部ブロックPALの議長支部でもあり、忙しく過ぎていくと思います。

令和7年は、みなさんの勇気と知恵で建設業の地位向上を目指し、希望を胸に行動していきましょう。

12.15 PAL 交流会 高尾山ビアマウント

現場を改善するPAL目指す

支部PAL・野丁倶楽部は、一昨年に引き続き高尾山中腹にあるビアレストランにて交流会を開

催しました (22人参加)。ケーブルカーでレストランまで行くことができず、歩いて山頂まで登ってから参加した仲間もいました。

今村PAL会長のあいさつと乾杯のあと、おのおのがピュッフェスタイルの料理を堪能。鍋やステーキ、パスタもあり、バラエティーに富んだ料理です。乾杯前に二杯目に突入した強

者、子どもたちは初めてみるチョコレートファウンテンに大はしゃぎでした。

初めて参加した防水工事の事業主は「同じ業種の仲間と深い話ができてよかった」と語りました。終始、ゼネコン現場の状況について意見交換をおこない、現場を改善するPALを目指していく決意を固め合い、終了しました。

土建国保のトク情報

国内宿泊旅行に補助

土建国保の加入者には1年度に1回、宿泊旅行に3,000円 (65歳以上は5,000円) の補助があります。申請用紙は「国保ガイド」についているほか、杉並支部のホームページからもダウンロードできます。75歳以上の組合員と配偶者には、どけん共済から宿泊旅行補助があります (杉並支部HPからダウンロード可)。



東京建築カレッジ第30期研修生募集!

建築のスペシャリストを養成する職業能力開発短期大学です。今年4月の開校の生徒を募集しています。お問い合わせは、支部または建築カレッジ (03-5950-1771) まで。

スナップの部

※9月21日能登平島珠洲市で撮影



河川氾濫

大島 修一さん(井荻)

増水し青信号が進めず引き返してきたのでしょうか。かすかに輪島の標識もみえます。社会的風景のすべてが入っている素晴らしい作品です。



映画観過ぎた

奥村 研一さん(直属)

伸びてるネコの手がすごく良いです。日常の中に面白さを発見するのも写真の楽しみ方の一つです。

入選

我慢

山根 匡枝さん(富士見)

子どもが我慢なのか撮り手が我慢なのか。ビールの位置が色々と思像させられます。



祝ハロウィン!

山口 裕子さん(高和)

「きれいだろう」と、置物と犬の両方から聞こえてきそうです。身近なところでの発見ですね。

お菓子とれたかな?

山下 早苗さん(西荻)

空中に舞うお菓子を良いタイミングで撮りました。お客さんと棟梁の手が生きています。



風景の部



南口

野辺 和宏さん(中央)

時計は12時10分、終電ぎりぎりか逃したか。深夜でも都市は活動している。こういう時にシャッターを切ろうとする発想が良いです。ブレてなく、街風景がとても良い感じですよ。



まっかつか

村松 幸さん(直属)

本体と水辺に映り込んだ赤色が良い。本体と映り込みの境に違和感(不調和)があり、それが写真のおもしろさとなっています。

入選

寒スズメ

中田 良一さん(泉南)

羽をふくらませているスズメの感じが良く出ています。冬の陽だまりの暖かさを感じます。



頑張っている木

勝呂 美智子さん(泉南)

何気ない所に目を向ける視点が良いです。日常生活の中にも素晴らしい風景があります。



燃えるような夕焼け

三谷 明さん(井荻)

家の立ち並び方が都市郊外の雰囲気を出し、夕日の赤が豊かなグラデーションになっています。



第2回 杉並写真コンクール 入選作品

昨年に引き続き「第2回杉並写真コンクール」を開催しました。「組合活動(6点)」「スナップ写真(22点)」「風景(23点)」「憧れ(2点)」の4部門に18人の組合員・家族から53点の応募がありました。応募いただいたみなさん、ありがとうございました。

組合活動の部



楽しかった分会旅行の帰り

遠藤 義男さん(高和)

すごく楽しかった分会旅行だったのが伝わってきます。最後の渋滞でも苦にしない車内の様子が、人物三人の笑顔からでもわかります。



むずかしいな

清水 淳さん(阿佐谷)

土建まつりの一部でしょうか? 子どもを包み込むような組合員が良い。これで、子どもの表情がもう少しみえたら良かったです。

入選

分会旅行でハイチーズ

岸川 正さん(泉南)

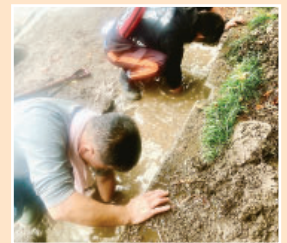
良いタイミングで撮れています。みんなの表情が楽しそうです。少し寄ると表情がもっと見えてきます。



土建まつり開催への道

河原井 優樹さん(泉南)

排水をする手に祭りの成功を願う必死さが写っています。どちらかの手が見えるとなお良かったです。



今こそ賃上げ! みんな思いは同じ!

栗林 弘行さん(中央)

白や青色の旗もあり、とても目立つ写真です。画面いっぱいにした構成が良いです。



審査を終えて

審査員: 写真家 尾辻 弥寿雄さん

昨年に比べると応募数が減りましたが、おもしろい作品が多数集まりました。特に「スナップの部」は、被写体の選び方が独特で、変化ある写真ばかりでした。組合活動の部は、集会だけでなくボランティア活動や分会活動、土建まつりなど組合全般にまで広がっていきと良いと思います。

